

2003年度(平成16年3月期) 第3四半期 決算説明会



2004年2月9日

株式会社 日本航空システム

目次

目次	<i>P1</i>		
MD81/87機 エンジンの不具合について	<i>P2</i>		
2003年度第3四半期決算	<i>P3</i>	Topics	<i>P17</i>
連結決算の概要	<i>P4</i>	2004年度路便計画	<i>P18</i>
営業利益 四半期毎の推移	<i>P5</i>	国内線新クラスサービス(class J)	<i>P19</i>
セグメント別営業収益・営業利益	<i>P6</i>	統合Phase に向けて ~その1~	<i>P20</i>
航空運送事業セグメント	<i>P7</i>	統合Phase に向けて ~その2~	<i>P21</i>
国際旅客需要動向	<i>P8</i>	先進的なキャッシュ・マネージメント・システム	<i>P22</i>
収入分析 - 国際旅客	<i>P9</i>	国内最大級の販売サイト ~JALホームページ~	<i>P23</i>
国際旅客方面別需要・供給(前年比)	<i>P10</i>		
国内旅客需要動向	<i>P11</i>		
収入分析 - 国内旅客	<i>P12</i>		
国際貨物需要動向	<i>P13</i>		
収入分析 - 国際貨物	<i>P14</i>		
営業費用の増減(航空運送事業セグメント)	<i>P15</i>		
燃油費と為替(航空運送事業セグメント)	<i>P16</i>		

MD81/87機 エンジンの不具合について

対象機材と不具合部分

MD81型機(17機)とMD87型機(8機)に搭載のPratt&Whitney社製エンジン
エンジン内部にある高圧コンプレッサ-の8段目のステ-ター-ペ-ン(静翼)に亀裂発生。

状況と対応

*1月19日～21日

全対象機材について検査実施。
その結果、25機中18機に亀裂発見。

*2月7日

エンジン交換等により稼動可能機材は
18機に。

*2月8日

欠航便解消。

影響

* 欠航便数 / 影響旅客数

1月	568便 / 38千人
2月	28便 / 2千人
合計	596便 / 40千人

* 減収見込み(JALグループ計)

約5億円

お客様・投資家の皆様に多大なるご迷惑・ご心配をお掛けした事を深くお詫び申し上げます。

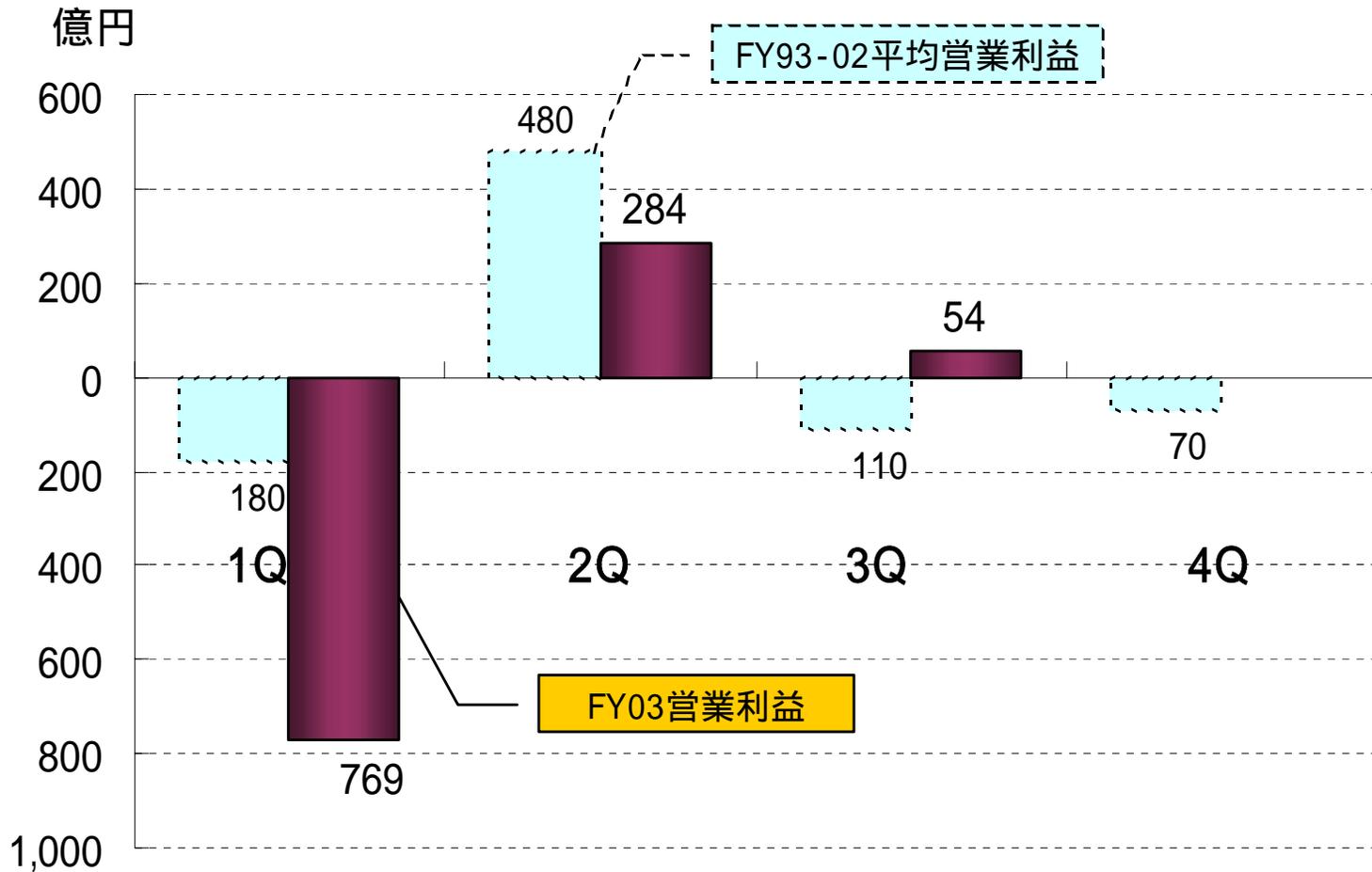
2003年度第3 四半期決算

連結決算の概要

(単位:億円)

	FY03		FY02 (参考)
	10月～12月	4月～12月	4月～3月
営業収益	5,256	14,701	20,834
営業利益	54	430	105
経常利益	110	387	158
当期利益	37	538	116

営業利益 四半期毎の推移



* FY93-02平均営業利益はJAL単体+JAS単体。今年度営業利益はJALグループ連結値。

セグメント別営業収益・営業利益

(単位:億円)

	営業収益		営業利益	
	10月～12月	4月～12月	10月～12月	4月～12月
航空運送	4,106	11,621	8	475
航空運送関連	605	1,801	16	9
旅行企画販売	1,099	2,934	7	12
その他	675	1,883	32	51

数値は全て連結調整前

航空運送事業セグメント



営業収益 内訳

		(単位: 億円)	
		10月～12月	4月～12月
国際	旅客	1,546 (109)	4,054 (1,122)
	貨物	433 (20)	1,147 (58)
国内	旅客	1,684 (+ 163)	5,123 (+ 300)
	貨物	85 (+ 1)	236 (+ 3)
その他		356 (30)	1,060 (173)
合計		4,106 (+ 4)	11,621 (1,049)

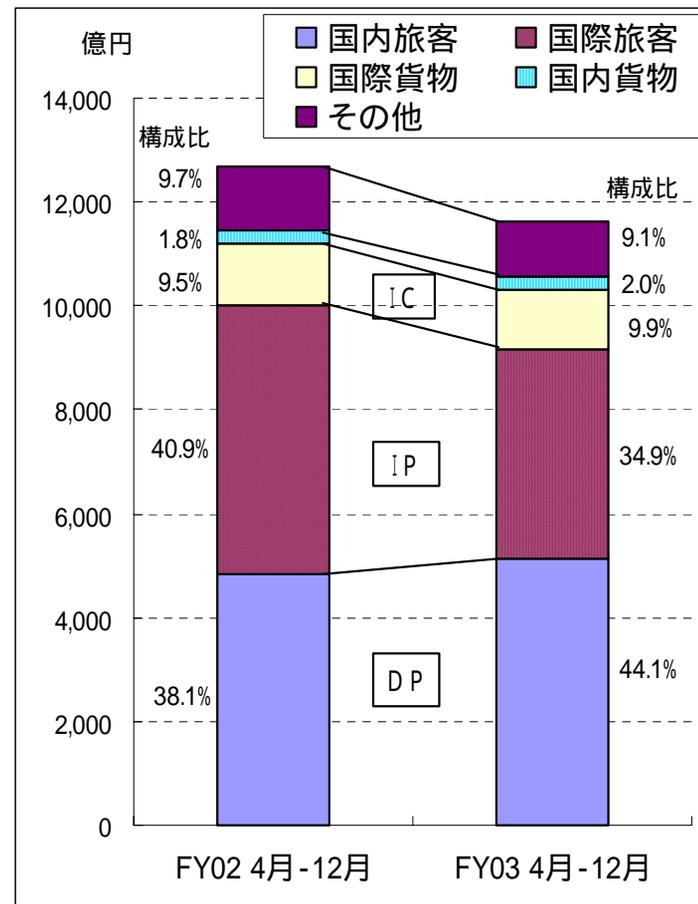
()内は前年比。但し、前年実績は試算値。

営業利益

		(単位: 億円)	
		10月～12月	4月～12月
合計		8 (+ 95)	475 (681)

()内は前年比。但し、前年実績は試算値。

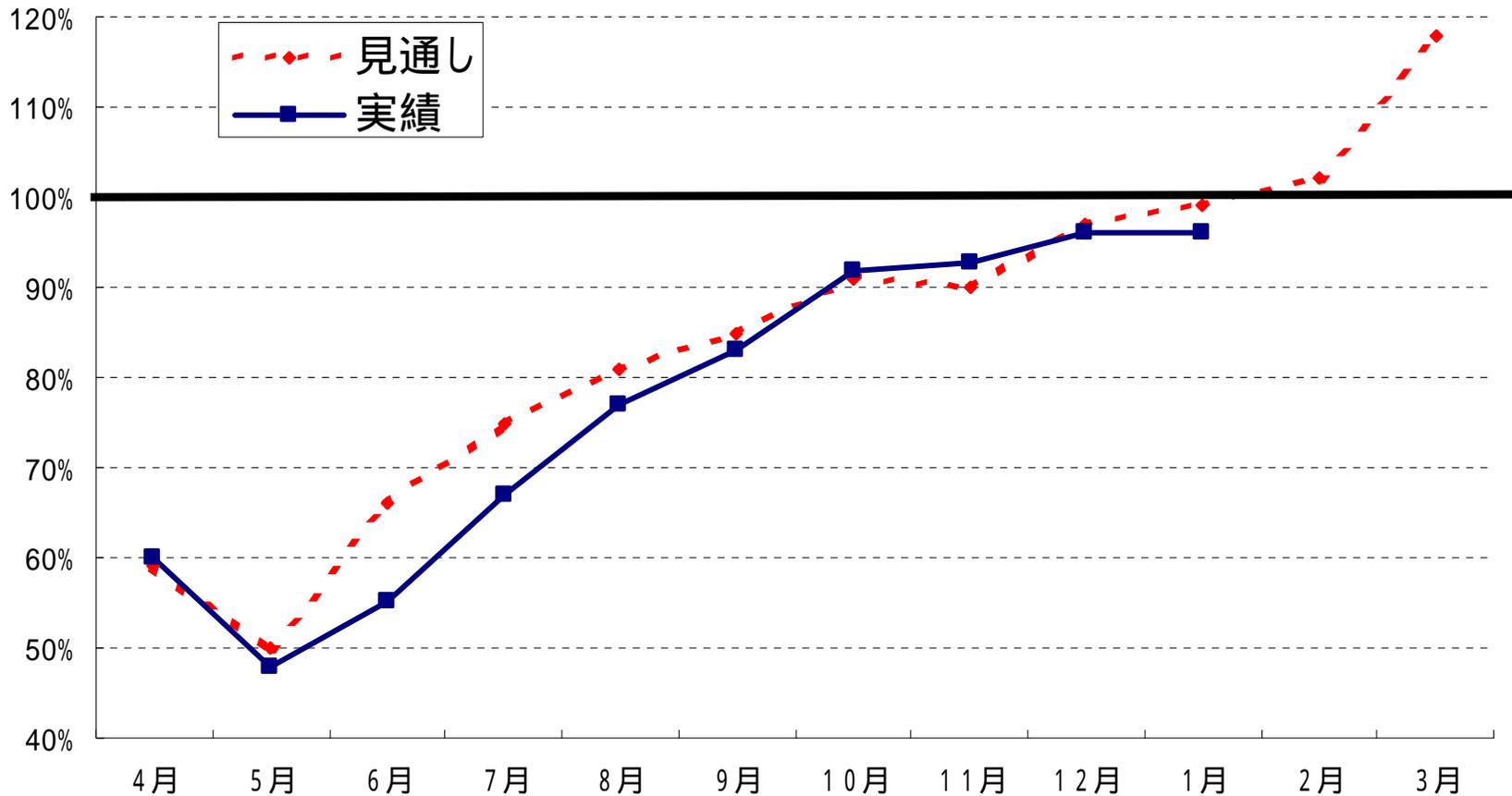
営業収益内訳(4-12月累計比較)



国際旅客需要動向

前年比

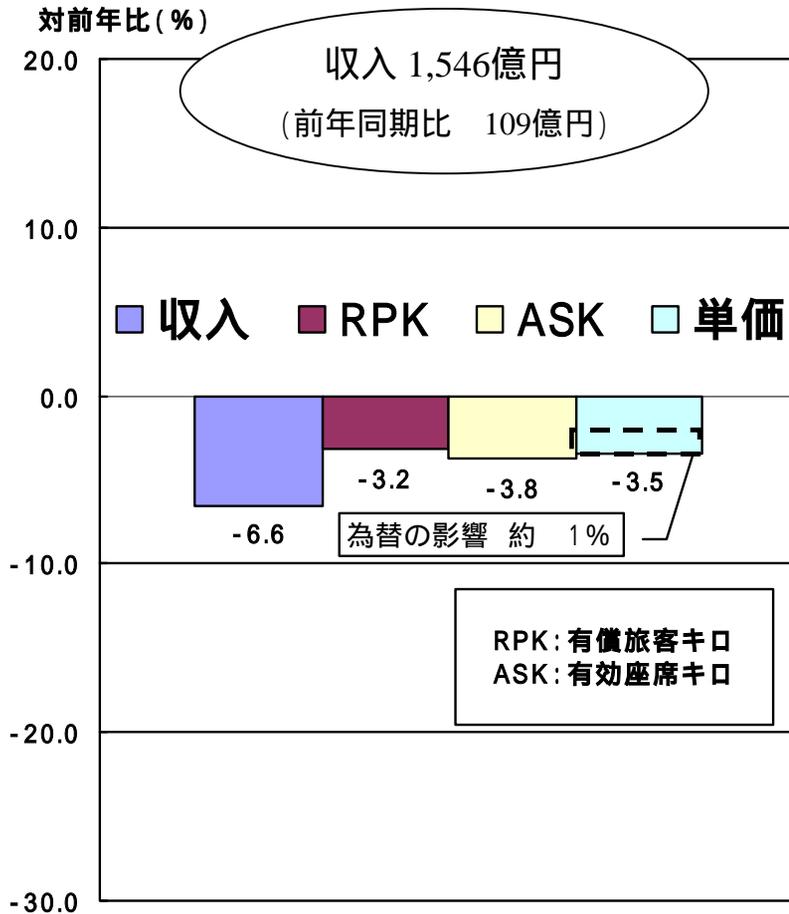
FY03 国際旅客数伸び率



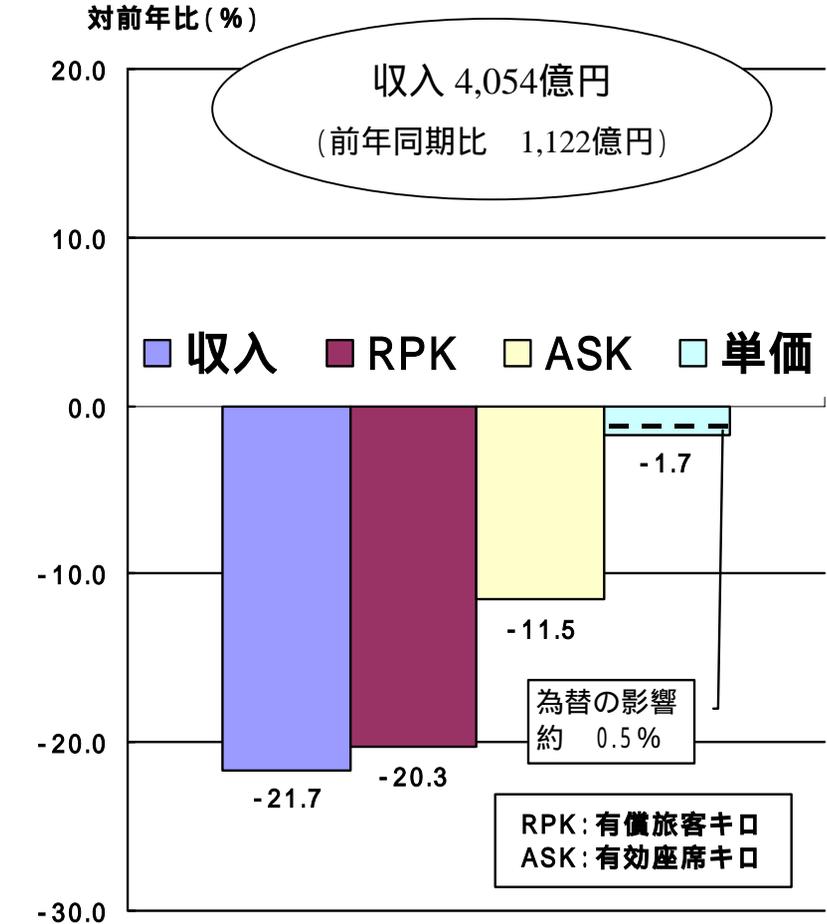
* 1月実績は速報値

収入分析 - 国際旅客

10月 - 12月



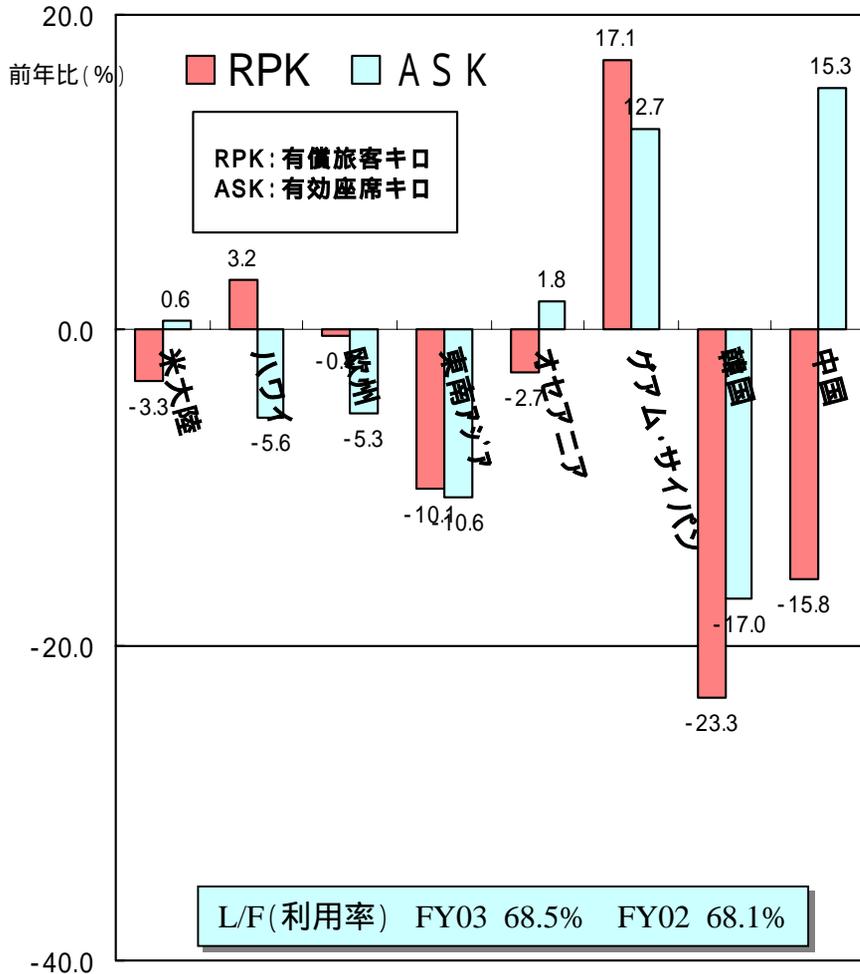
4月 - 12月



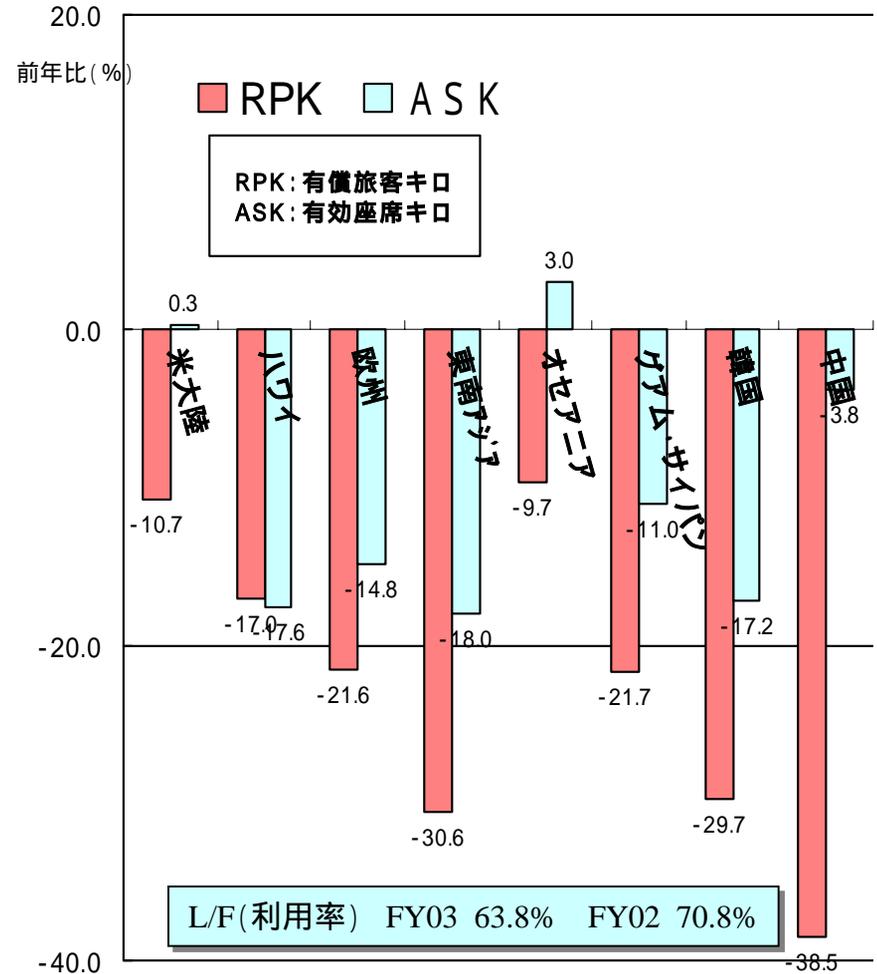


国際旅客方面別需要・供給(前年比)

10月 - 12月



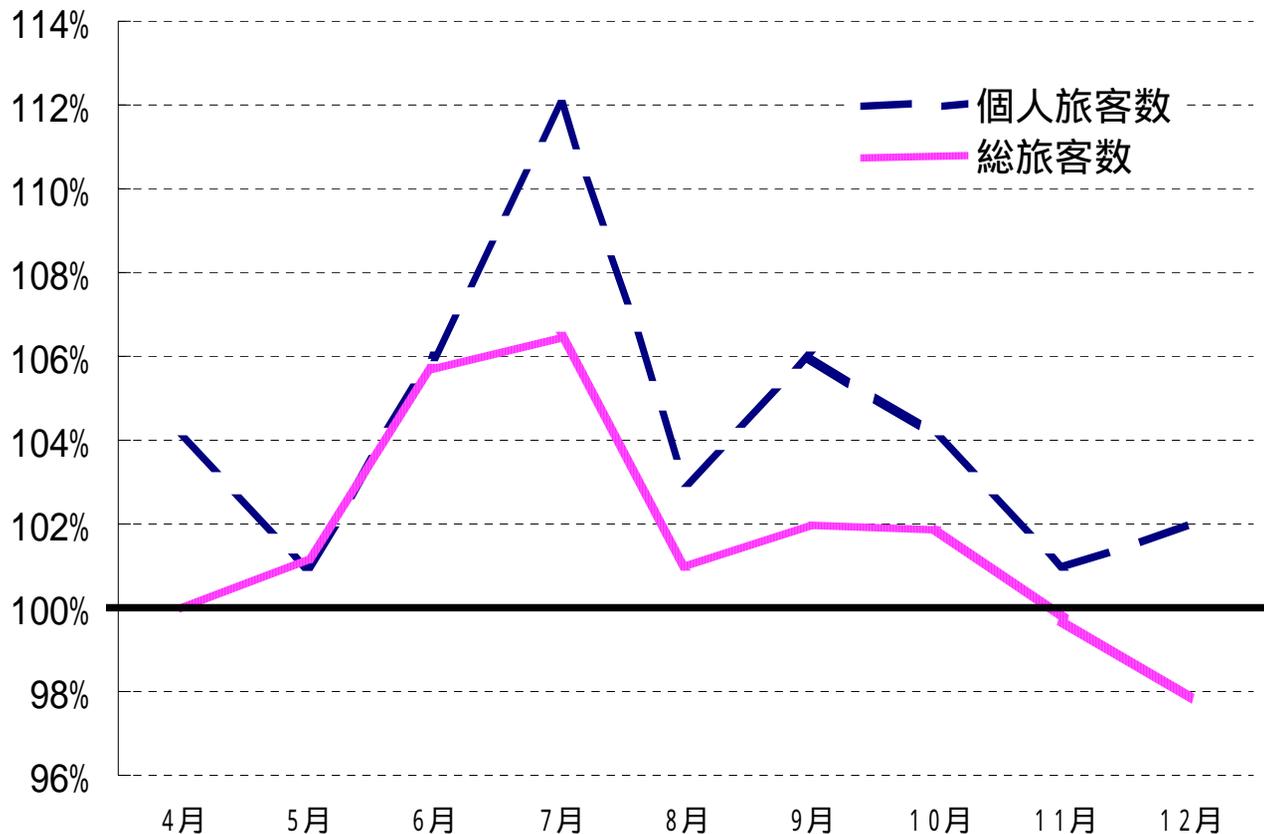
4月 - 12月





国内旅客需要動向

FY03旅客数伸び率(対前年比) *JALグループ計



旅客数伸び率(前年比)
 4月～12月累計
 個人旅客数: 104%
 総旅客数: 102%

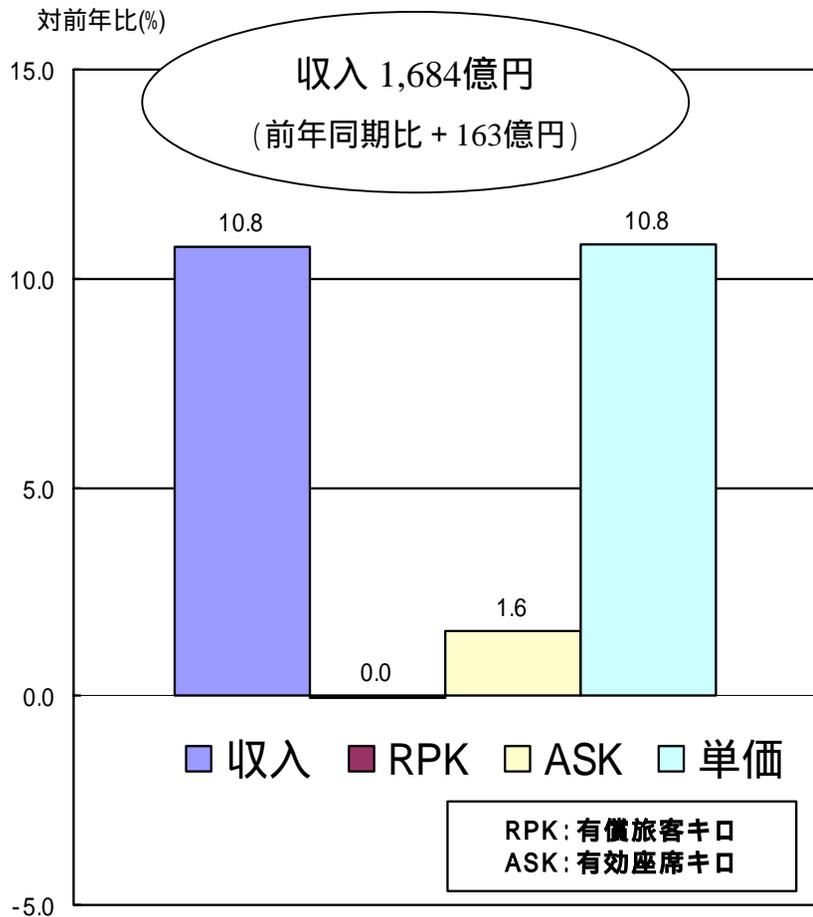
個人比率
 4月～12月累計
 63.5%

L/F(利用率) 10月～12月累計 FY03 63.2% FY02 64.2%

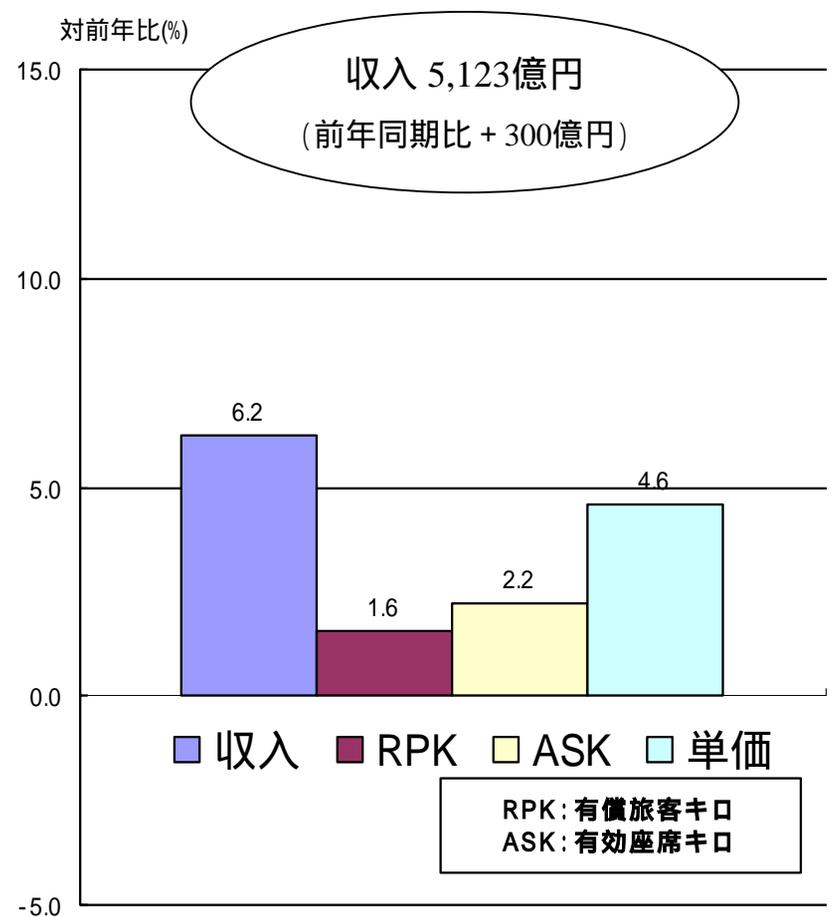
L/F(利用率) 4月～12月累計 FY03 65.0% FY02 65.4%

収入分析 - 国内旅客

10月 - 12月

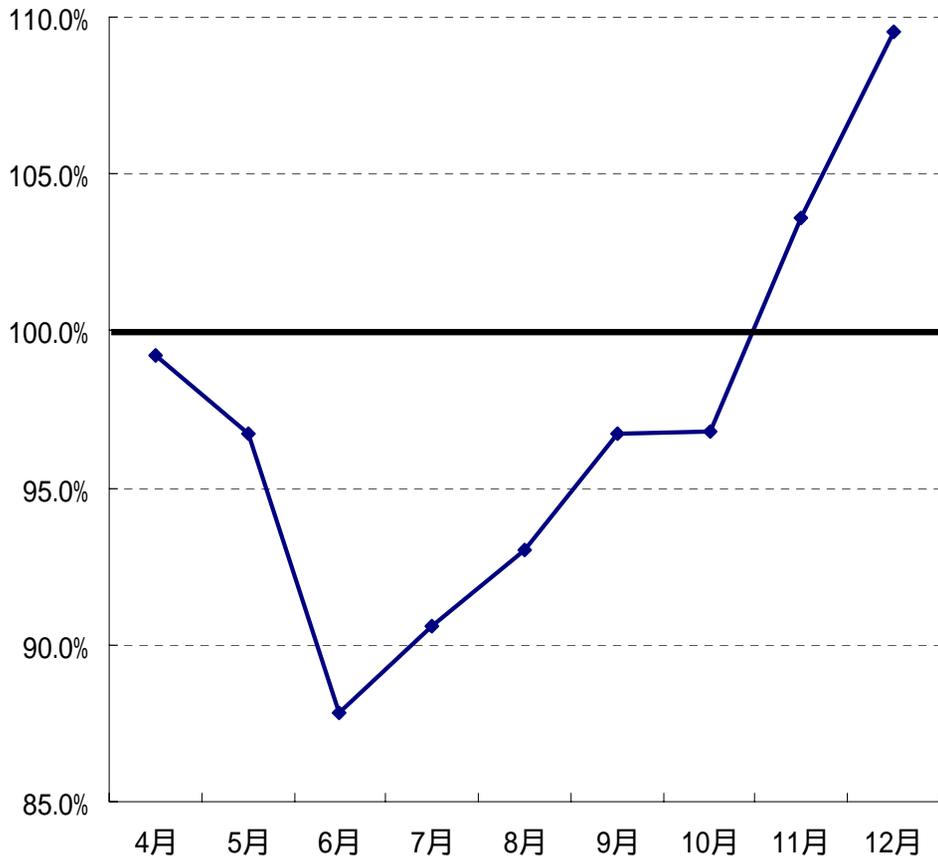


4月 - 12月

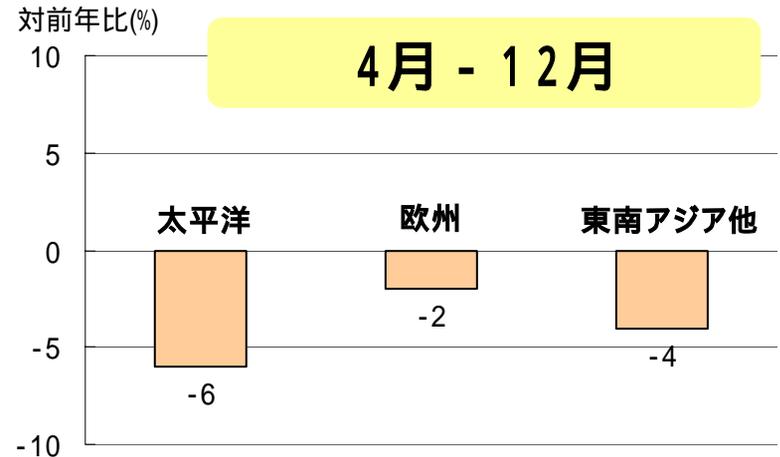
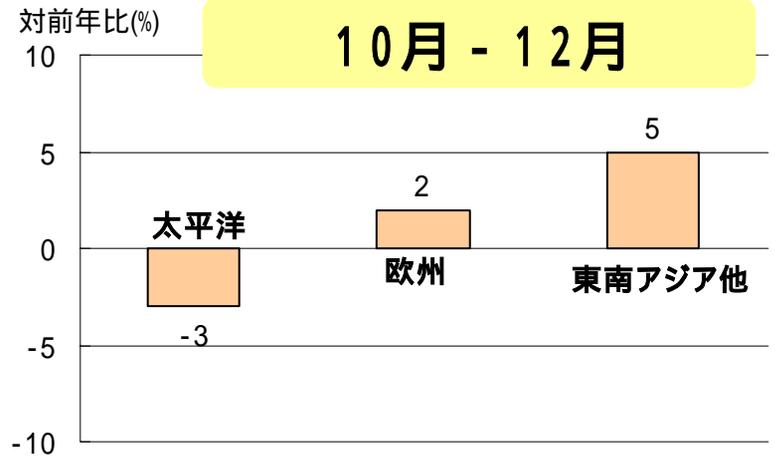


国際貨物需要動向

国際貨物搭載重量伸び率

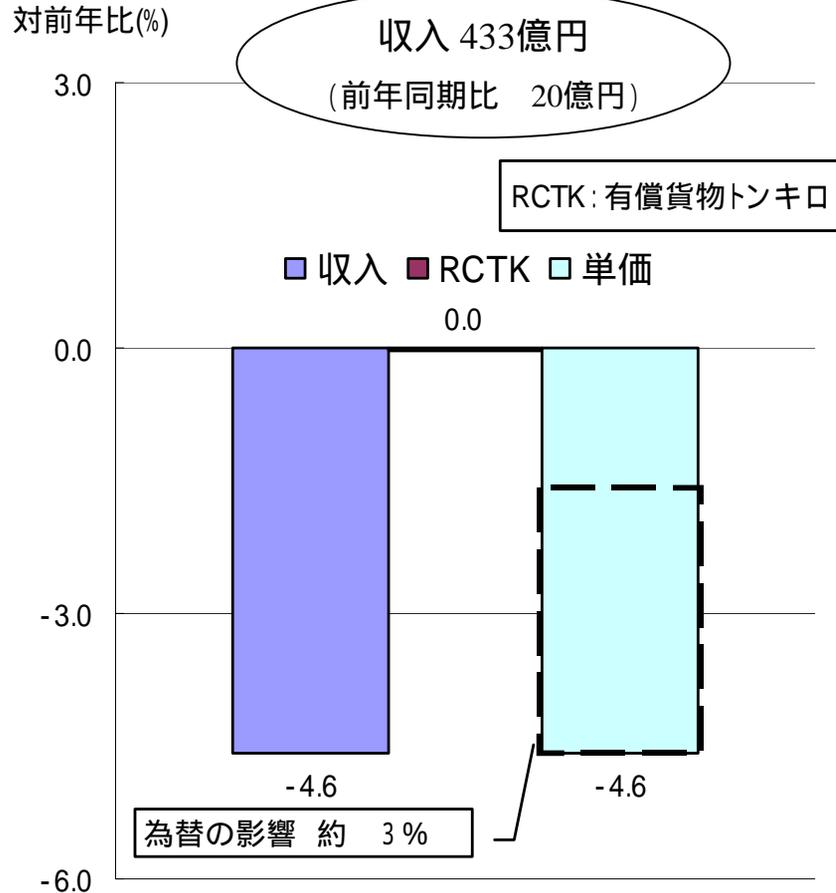


方面別搭載重量 対前年比(発着トナース)

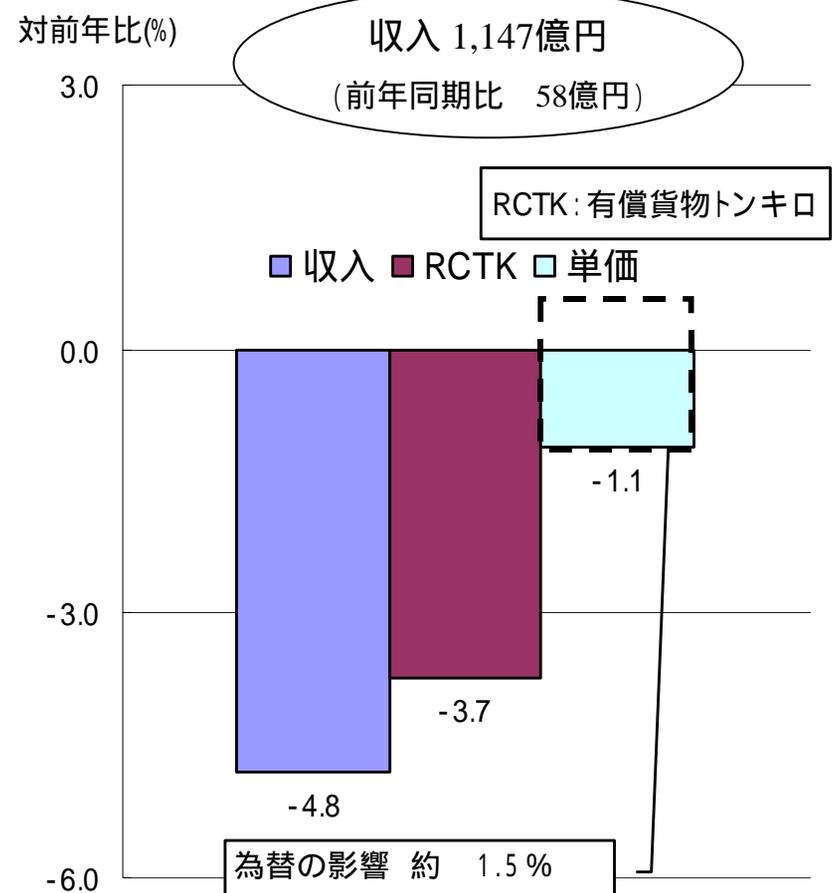


収入分析 - 国際貨物

10月 - 12月



4月 - 12月



営業費用の増減(航空運送事業セグメント)

(単位:億円)

	10月～12月			4月～12月		
	FY02	FY03	増減	FY02	FY03	増減
燃油費	651	623	28	1,853	1,839	15
運航施設利用費	335	343	8	999	995	4
整備費	314	268	47	851	824	28
貨客サービス費	142	126	16	431	354	77
販売手数料	332	333	1	1,019	908	111
航空機材減価償却費	186	189	3	549	568	18
航空機材賃借料	254	249	5	763	733	30
人件費	821	847	25	2,442	2,519	77
その他	1,154	1,120	32	3,559	3,357	199
合計	4,189	4,098	91	12,466	12,097	369

* FY02の値は試算値。

燃油費と為替 (航空運送事業セグメント)

燃油費 (4月 - 12月平均)

市況(シンガポールケロシン)
 FY03 \$31.5/bbl
 (FY02 \$28.9/bbl)

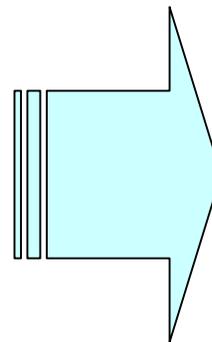
FY03ヘッジ率
 約50%

為替

主要通貨の為替レート

	FY02	FY03
USD	¥124.1	¥116.2
EUR	¥118.1	¥131.7
HKD	¥15.9	¥14.9

(注) JAL社内月次レート(4-12月)平均値



影響額

営業収益	47	億円
営業費用	157	
営業利益	+110	

* 4月 - 12月累計

Topics

2004年度路便計画

路便計画

国際旅客 (JALインターナショナル)

ASK VS.PY+7%(VS.FY02 4%)

中国線 日本最大のネットワークを更に拡大

杭州線開設、青島・広州線増便

12都市 26路線 週間216便に

貨物便

ATK VS.PY+1%

上海便増便

国内旅客 (JALジャパン)

ASK VS.PY 4%

投資効率の向上

航空機稼働の向上

収支極大化を目指した路便策定

日本最大の航空ネットワーク

JALグループ合計 約960便/日

機材計画

FY02末/286機

FY03末/275機(11)

FY04末/275機(± 0)

FY04退役 計12機				FY04導入 計12機					
MD11	3機	DC10	4機	B777-200ER	3機	B777-300ER	2機	B767-300ER	4機
YS11	2機	A300	3機	Dash-8 Q400	1機	B747-400F(貨物専用機) 2機			

*MD11の完全退役で機種を15機種から14機種に削減。

国内線新クラスサービス

class J



スーパーシートに代わる新たなサービスを導入

サービス開始

2004年6月1日

料金

運賃 プラス 1,000円

サービス

～ くつろぎの空間を演出 ～
専用のブランケットとヘッドホンを搭載。

新シート

身体に優しい人間工学に基づく、
新リクライニング方式を採用。

導入機材と座席数

- ・250席以上の中・大型機
(B747-400/B777/B767/A300-600R)
- ・クラスJの座席数は現状スーパーシートの約3倍に
- ・普通席含む総座席数は従来と変わらず



シートピッチ
(前後幅)

120%に拡張
(普通席比)

統合Phase に向けて ~ その1 ~



サービス・利便性の向上とブランド強化

空港

国内

- ・カウンターの統合
- ・ラウンジ再編、全面禁煙化
- ・新型チェックイン機への置き換えと増設
- ・新型マイレージ登録機の設置
- ・JALペットクラブ

国際

- ・自動チェックイン機の増設

予約

フリーダイヤルの統一

国内線: 0120 - 25 - 5971

国際線: 0120 - 25 - 5931

時刻表

国内・国際共に見易く使い易いものに

制服

新制服に統一

運航・客室・整備・空港・市内支店

貨物サービス

全国内空港で貨物郵便窓口を統一

統合Phase に向けて ~ その2 ~



国内線を全て4桁のJAL便名に統一、わかりやすい体系に整理

羽田発着路線は1000番代、それ以外は出発エリア別に便名帯を振り分け

羽田空港発着便		
羽田 ~		便名帯
幹線	~ 札幌	1000 ~ 1099
	~ 関空	1300 ~ 1329
	~ 伊丹	1500 ~ 1599
	~ 福岡	1700 ~ 1759
	~ 那覇	1900 ~ 1939
幹線以外	~ 北海道	1100 ~ 1199
	~ 東北・北陸	1200 ~ 1299
	~ 近畿・四国	1330 ~ 1499
	~ 中国	1600 ~ 1699
	~ 九州	1760 ~ 1899
	~ 奄美/石垣/宮古/久米	1940 ~ 1999

その他の空港発着便	
出発エリア	便名帯
伊丹・関空	2000 ~ 2599
北海道	2700 ~ 2899
東北・北陸	2900 ~ 2999
成田	3000 ~ 3099
名古屋	3100 ~ 3399
中国・四国	3400 ~ 3499
九州以南	3500 ~ 3899

臨時便・季節増便等	2600 ~ 2699
	3900 ~ 3999
	4000 ~ 4999

* JTA・RAC便については、当面3桁便名を継続

先進的なキャッシュ・マネージメント・システム

(株)ジャルキャピタル(JLC/日本航空システムの100%子会社)が運営

JALグループのCMS(キャッシュマネージメントシステム)の歩み

- 2000年3月 プーリング機能(*1)、総合振込みの支払い代行機能(*2) ネットिंग機能(*3)にて11社参加で開始。
- 2002年4月 給与振込みの支払い代行開始。
- 2002年10月 JASグループ参加開始。(現在まで延べ22社参加)
- 2004年2月 現在グループCMSに97社が参加。

(*1)プーリング機能

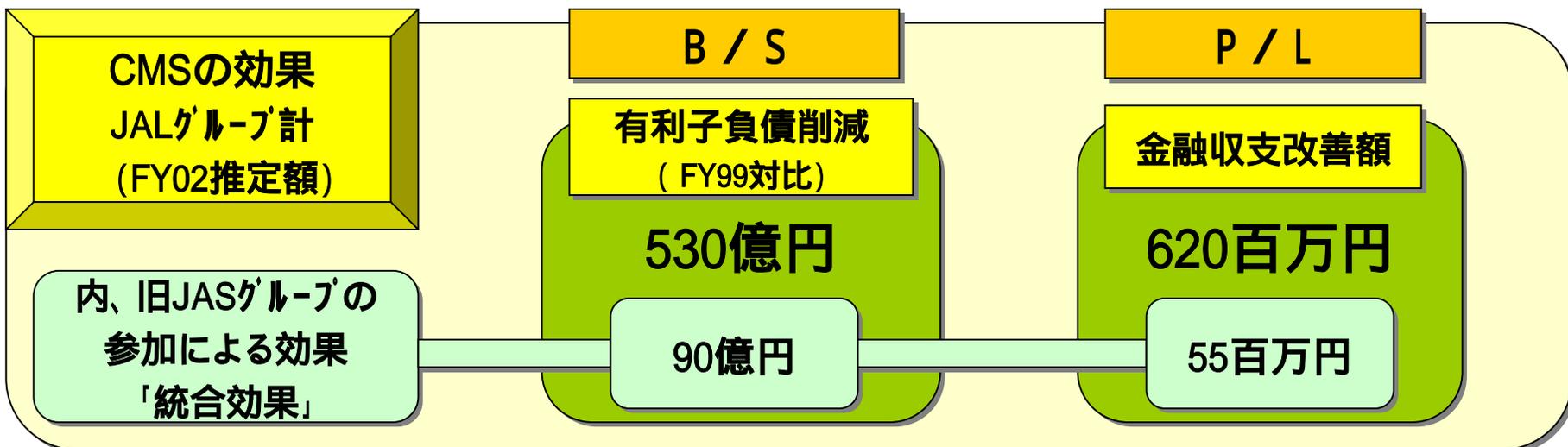
参加会社がJLCへ余剰資金を貸付け、それを原資にJLCが他の参加会社に資金を貸付る機能。連結決算にて有利子負債と借入利息を減少させる効果がある。

(*2)支払い代行機能

参加会社の支払いをJLCが代行して支払う機能。資金はJLCが拠出し、参加会社に対しては、貸付金の増加、又は借入金の減少として処理する。各参加会社の資金繰り業務が軽減する上、振込み手数料削減の効果がある。

(*3)ネットिंग機能

参加会社間の取引をJLCとの貸借処理のみで処理。銀行へ振込依頼をしないので振込資金・手数料が不要。



国内最大級の販売サイト ~ JALホームページ ~



狙い

eマーケティングの推進による増収
予約・発券にかかわる費用の削減

強み

1,500万人を超えるJMB会員
他に例をみない豊富なコンテンツ
2003年10月JAL/JASホームページ統合

実績

e予約売上 国内・国際計1,900億円 (FY03見通し)
視聴者数 月間1億5千万ビュー

評価

航空券サイトランキング 第1位
(Gomez社2003年夏期調査)

サイトで購入した人の割合が高い企業 第3位
(1位アマゾンジャパン、2位マイクロソフト)
(日経産業新聞/日本ブランド戦略研究所 2003年7月調査)

目標

2005年度にはeビジネスチャネルを国内線個人旅客の50%まで高める
(2003年12月現在約40%)



お問い合わせ先

株式会社日本航空システム IRデスク

〒140-8605 東京都品川区東品川2-4-11 JALビルディング

TEL: (03)5769-6097 FAX: (03)5769-6492

Office Hour: 平日 9:30-12:00, 13:00-17:00

URL: <http://www.jal.jp>

- 本資料はあくまで御参考資料であり、正確な決算数値等は業績の概況等を御参照下さい。また、当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料は2004年2月9日開催決算説明会補足説明資料であり、著作権やその他本書類にかかる一切の権利は株式会社日本航空システムに属します。

Please refer to the Financial Information (“Gyoseki no Gaikyo”) for the precise figures on the account settlement.

Any statements in this document, other than those of historical facts, are forward-looking statements about future performance, which are based on management’s assumptions and beliefs in light of information currently available, and involve risks and uncertainties. Actual results may differ materially from these forecasts.

This document is published as supplemental materials for the Briefing on JAL Group’s Financial Statements for FY2003/3Q. The copyright of this document belongs to Japan Airlines System Corporation.

本日の会社説明の様子はインターネットTV **JAL TV** で映像でご覧いただけます

(www.jal.co.jp/broadband/)